

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学		講義	宮下 久美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
生体の仕組みを理解することは様々な疾患の成因や病態を知るうえで必要不可欠である。本科目では、人体を理解する上で必要な生理機能について解説する。また、疾患との関わりについても適宜紹介し、病態の成因についての理解を深める。				
授業の到達目標				
人体の様々な生理機能について学び、学習した知識を疾患の成因や治療方針に関連付けて理解できるようにする。				
授業計画				
回	内容			
1	細胞の構造と機能			
2	細胞の興奮と伝導			
3	神経と筋			
4	末梢自律神経系			
5	感覚			
6	中枢神経系			
7	血液			
8	呼吸			
9	循環 心機能			
10	循環 血管機能			
11	腎臓			
12	消化・吸収と代謝 腸管における代謝			
13	消化・吸収と代謝 付属腺の機能			
14	エネルギー代謝と体温			
15	内分泌			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	医療従事者に必要な基礎的生理学知識(国家試験問題が解けるような知識)が身についているかを確認する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
Qシリーズ 新生理学【電子版付】8版		竹内昭博	日本医事新報社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
みえる人体		佐藤達夫・松尾理	南江堂	
自由記載				
備考				